		 専門学校	開講年度	令和04年度 (2	2022年度)	授業科目	英語				
		等门子似		丁州044克(	2022年反)	投来付日					
科目基礎情報					科目区分	一般 / 選	中心体				
科目番号授業形態		0206			単位の種別と単位						
投票形態   講義      開設学科   一般科目			B		対象学年	<b>数</b> 腹形单位	. 2				
開設期		通年		週時間数	2						
教科書/教	·***		- 『プロジェクト発	信型英語 Volume 1	1 1 1 1						
担当教員	. (2)		『プロジェクト発信型英語 Volume 1』(南雲堂) 								
到達目標		2 CANCE BONG	24.3 733 1								
1. プレゼ 2. リサー	- ンテーショ チの結果を	きまとめたプレ	リサーチができるこ レゼンテーションス -ションができるこ	くライドを作成できる	3こと						
ルーブリ	Jック										
			理想的な到達レ	·ベルの目安	標準的な到達レベ	ルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1			- 一チが適切にで		プレゼンテーショ ーチができる		ーチができない				
評価項目2	2		リサーチの結果をまとめたプレゼ ンテーションスライドを適切に作 成できる		リサーチの結果を ンテーションスラー る						
評価項目3			評価項目1,2の内容を用いて英語 プレゼンテーションが適切にでき る		評価項目1,2の内容を用いて英語 プレゼンテーションができる		評価項目1,2の内容を用いて英語 プレゼンテーションができない				
学科の至	到達目標	項目との関	×								
学習・教育	<b>育到達度目</b>	標 本科の学習	習・教育目標 (HA)								
教育方法	去等										
概要		これまで 活動を行	に学習した英語の う。本授業は就職。	文法, 語彙等を用い と進学に関連し, コ	て, 自らの考えを英 ミュニケーションカ	語で発信できる を高めることか	らよう, 英語でのプレゼンテーション ぶできる。				
授業の進め	か方・方法	演習を基	本とする。新型コロ	ロナウイルスの影響	により, 授業内容を	一部変更する可	J能性があります。				
注意点		【同し ESD1 ESD1ト デ素 TABE 前 第 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	コミュニケーション英語I, II, 英語表現I, II, 上級コミュニケーション英語A, B, 英語(4年選択科目) 【同時に学ぶ科目】 なし 【ESDとの関連 (教育目標)】 (ESD1) テキストの演習を通して, 英語でのコミュニケーション能力を高めることで, 他文化の人々と協力して行動するための素養を身につける。 【評価方法と基準】 JABEE合格基準:60%以上 前期未試験33.3%+後期中間試験33.3%+後期期未試験33.4%+ポートフォリオ30%=100%(100点) 60%以上を合格とする。 ※新型コロナウイルスの影響のため前期中間試験は中止								
授業の原	属性・履	修上の区分	·								
□ アクテ	-ィブラー:	ニング	□ ICT 利用		□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業					
授業計画	<u> </u>										
		週	授業内容			週ごとの到達目	票				
前期		1週	Unit 1			全生同士がコミ <u>:</u> ができる	ュニケーションする雰囲気を作ること				
		2週	Unit 2	Jnit 2		芸語で自分の好る	きなことについて話すことができる				
		3週	Unit 3			リサーチについて	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
	1stQ	4週 5週	Unit 4 Unit 5		3	ミニ・プロジェクトの切り口を考えることがで   ミニ・プロジェクトの切り口を選んでテーマを					
					اِ	リサーチできる ミニ・プロジェクトのリサーチを進め、中間プ					
		6週	Unit 6, 7			ニーションのス	ライドを作ることができる				
		7週	中間試験								
		8週	Unit 8, 9			-	ゼンテーションを行うことができる				
	2ndQ	9週	Unit 10			割り込みと繰り返しを用いた質疑応答ができる					
		10週	Unit 11		確認と説明を用いた質疑応答ができる						
		11週	Unit 12			期末プレゼンテーションの概要をまとめることだる。					
		12週	Unit 13		1		 -ションの原稿を作ることができる				
		13週	Unit 14		其	期末プレゼンテーションのスライドを作ること					
		14週	Unit 15		其	<sup>22</sup>  期末プレゼンテーションのスライドを作ることがで   る					
		15週	期末試験			-					
		16週	試験結果返却・説	 明							
	-	1	-   W. W. CHA   NATION   11/U								

		1週	Unit 16			リサーチの構成要素を理解できる			
	3rdQ	2週	Unit 17			インタビューの原案を作ることができる			
		3週	Unit 18			インタビューを行い, その結果をまとめて報告できる			
		4週	Unit 19			アンケートの原案を作ることができる			
		5週	Unit 20			アンケートを行い, その結果をまとめて報告できる			
		6週	Unit 21			中間プレゼンテーションの原稿を作ることができる			
		7週	Unit 22			中間プレゼンテーションのスライドを作ることができる			
		8週	中間試験						
		9週	試験結果返却・説明						
後期		10週	Unit 23			パラグラフリーディングの技術を用いて、パラグラフ のメインアイデアを取り出すことができる			
		11週	Unit 24, 質疑応答の方法			パラグラフリーディングの技術を用いて、パラグラフ のメインアイデアを取り出すことができる 質疑応答の基本的な表現を使うことができる			
	4thO	12週	質疑応答の方法			質疑応答の基本的な表現を使うことができる			
		13週	Unit 27			最終プレゼンテーションの原稿とスライドを作ること ができる			
		14週	Unit 27			最終プレゼンテーションの原稿とスライドを作ること ができる			
		15週	学年末試験						
		16週	試験結果返却・説明	1					
モデルニ	コアカリ	キュラムの	学習内容と到達	目標					
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目	 標		到達レ	ベル 授業週	
評価割合		<u> </u>							
		式験		相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価害		'0	0	0	0	30	0	100	
基礎的能力		'0	0	0	0	30	0	100	
専門的能力	ם ל	)	0	0	0	0	0	0	
分野横断的	勺能力 0	)	0	0	0	0	0	0	